

シラバス参照

科目名	経営史Ⅱ
配当年次	1年次
開講期間	秋学期
単位数	2
担当教員	辻 智佐子(ツジ チサコ)
期間・曜日・時限・教室	秋学期 木曜日 1時限 23-410

※	
授業の目的・目標	<p>【授業の概要】:本講義は日米の流通業(小売業)を事例に経営史的視点から産業の歴史を見ていき、産業発展のプロセスやイノベーションについて考える。</p> <p>【授業の目的】: この講義は、「経営史Ⅰ」のつづきとして講義をすすめる。20世紀は、大量生産技術が確立・普及し、その結果流通過程においても大きな変化が生まれた時代である。大量消費型の流通を実現した、いわゆる「流通革命」は、従来の流通のしくみを変えていったわけであるが、授業では前期と同様に「20世紀はいかなる時代だったのか」について流通業を事例にとり上げながら、経営史・経済史的視点から考察していく。そしてこの講義を通して、現在われわれが直面している様々な経済問題に対して解決の糸口を見つけることを目的とする。</p> <p>【習得できる力】:経営学部ディプロマポリシーあるいは全学部ディプロマポリシーとの関連については、別紙に記載。</p> <p>【授業の到達目標】:小売業について日米の発展史について理解し、産業発展のプロセスについて経営史的視点から理解する。</p> <p>【実務経験と授業内容との関連】:特になし</p>
準備学習等の指示	この授業は1回の授業につき3時間の準備学習が必要である。また、課題提出はWebclassを用いる。授業で配布する参考文献一覧のなかの専門書に目をとし、事前に予備知識をつけておくこと。また、授業で配布されるレジュメや資料をつかって、毎回復習することをすすめる。
講義スケジュール	<p>■1回目 【テーマ】問題提起(ガイダンス) 【到達目標】この講義のテーマについて理解する 【準備学習】配布の参考文献一覧をチェックする</p> <p>■2回目 【テーマ】前期講義内容の復習 【到達目標】「経営史Ⅰ」の復習において、20世紀の世界経済について概要的に理解する 【準備学習】前期授業のノートを振り返り復習する</p> <p>■3回目 【テーマ】経営史の理論的枠組み 【到達目標】「経営史」の理論的支柱となっている理論について理解する 【準備学習】関連する参考文献を読む</p> <p>■4回目 【テーマ】戦後世界経済のあゆみ:アメリカと西欧諸国 【到達目標】アメリカを軸に据えて、戦後の世界経済について理解する 【準備学習】関連する参考文献を読む</p> <p>■5回目 【テーマ】事例・アメリカの流通業(1):アメリカの流通業の歴史 【到達目標】事例としてアメリカ流通業を取り上げ、アメリカの流通業の歴史を戦前戦後を通して理解する 【準備学習】関連する参考文献を読む</p> <p>■6回目 【テーマ】事例・アメリカの流通業(2):アメリカの特殊事情が生んだ巨大流通企業・シアーズ社 【到達目標】なぜアメリカで早期に流通革命が起こったのかを理解する 【準備学習】5回目の授業内容を復習し、関連する参考文献を読む</p> <p>■7回目 【テーマ】事例・アメリカの流通業(3):ウォルマートの出現 【到達目標】事例研究として、ウォルマートの歴史的発展について理解する 【準備学習】6回目の授業内容を復習し、関連する参考文献を読む</p> <p>■8回目 【テーマ】事例・アメリカの流通業(4):サム・ウォルトンとウォルマートの経営 【到達目標】創業者のサム・ウォルトンに着目し、人物、思想、戦略などについて理解する 【準備学習】7回目の授業内容を復習し、関連する参考文献を読む</p> <p>■11回目 【テーマ】事例・日本の流通業(1):日本の流通業の歴史 【到達目標】事例として日本の流通業を取り上げ、日本における流通業の歴史を理解する 【準備学習】関連する参考文献を読む</p> <p>■12回目 【テーマ】事例・日本の流通業(2):日本の「流通革命」とダイエー 【到達目標】事例研究としてダイエーを取り上げ、戦後日本の流通革命について理解する 【準備学習】11回目の授業内容を復習し、関連する参考文献を読む</p> <p>■13回目 【テーマ】事例・日本の流通業(3):コンビニエンスストアの登場とセブンイレブン 【到達目標】日本のコンビニエンスストアの歴史とセブンイレブンの発展史について理解する 【準備学習】12回目の授業内容を復習し、関連する参考文献を読む</p>
教科書	テキストは特に指定しないが、配布する参考文献(Webclass上にアップ)を参照し熟読すること。

参考文献	アダム・スミス、杉山忠平訳『国富論』全4巻、岩波書店、2000～2001年；アーノルド・トインビー、塚谷晃弘他訳『英国産業革命史』邦光堂、1951年；アルフレッド・チャンドラー、鳥羽欽一郎他訳『経営者の時代』上下巻、東京経済新報社、1979年；安部悦生『経営史』日本経済新聞社、2002年；阿部謙也『自分のなかに歴史をよむ』筑摩書房、1993年；伊藤光晴他『シュンペーター』岩波書店、2002年；猪木武徳『戦後世界経済史』中央公論新社（中公新書）、2009年。その他、詳細は開講後にWebclassの資料にて一覧をアップ。
授業の方法	授業方法は「講義形式」として実施。ただ、毎回の授業においてQ&Aの時間を取り、なるべく双方向の時間を設ける。履修者が多い場合、質問はWebclassを通して受け付け、次回の授業でフィードバックする。履修者が少ない場合、授業内でQ&Aを実施する。
成績評価方法	【評価方法・割合】定期テスト[確認テスト・レポート]（70%）、平常点（30点） 評価の基準について、(1)レポートは①論理的に書かれているか、②授業内容に沿っているかなどを基準に評価する。(2)平常点とは主に授業へのコミットメントの度合いである。確認テストの解答についてはWebclassおよび授業内にてフィードバックする。
オフィスアワー	水木金のお昼休み、及び事前連絡により適宜対応。
居室	17号館312教室（辻研究室）； メールアドレス ctsujii@josai.ac.jp
ホームページ	特になし
その他特記事項	【ナンバリング：MAN213J】「経済史概論Ⅰ・Ⅱ」も合わせて受講していただきたい。また、履修者上限を150名とし、それを超える場合は抽選とする。
添付ファイル	